

平成 26 年 3 月 11 日

## 行 動 計 画 ( 第 3 回 )

須藤建設工業株式会社

社員が仕事と子育てを両立できるように更なる雇用環境の整備を図り、社員がより良く能力を発揮できる次世代育成支援対策推進企業として社内外にアピールするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 3 年間

2. 内 容

**目標 1 : 引き続き仕事と育児の両立支援窓口を利用し易くするため、育児・介護休業法その他の関連法規の資料を充実させるとともに担当者のレベルアップを図る。**

< 対策 >

- 平成 26 年 4 月～各種広報誌、パンフレット等を収集し、食堂等に備置する。
- 平成 26 年 4 月～担当者の再教育を実施し、育児・介護休業法関連の専門担当者を養成する。
- 平成 26 年 7 月～社員が両立支援窓口を気軽に利用できるように、アンケート調査を実施する。

**目標 2 : 社員の誕生日休暇、男子社員の子の出生時休暇及びリフレッシュ休暇の取得率の向上を図る。**

< 対策 >

- 平成 26 年 4 月～制度の周知を徹底し、対象社員全員の取得を目指す。
- 平成 27 年 4 月～前年の取得状況を分析し、平成 27・28 年度の目標を定める。

**目標 3 : 少なくとも 1 人は、男性社員の育児休業の取得を目指す。**

< 対策 >

- 平成 26 年 7 月～社員に両立支援窓口の利用を呼びかけ、個別相談ができる体制を敷く。

**目標 4 : 子の看護休暇及び介護休暇を取得しやすくする策を講じる。**

< 対策 >

- 平成 26 年 4 月～取得促進のため、両休暇（当社制度を含め）の周知を図る。

**目標 5 : ワーク・ライフ・バランスについての意識改革に努める。**

< 対策 >

- 平成 26 年 6 月～社員への研修会を実施する。
- 平成 27 年 10 月～意識改革に向けて次年度以降に実施する内容を検討する。
- 平成 28 年 1 月～社員のニーズをアンケート調査し、最終年度の具体的内容を検討、行動計画を策定する。